

令和 8 年清川村議会 9 月定例会 一般質問通告

質問順位	1	質問通告者	2 番 小林 大介
質 問 項 目 ・ 要 旨			
1 質問事項			
持続可能な上下水道事業の運営について			
質問要旨(内容を具体的に)			
上下水道は、村民生活や地域経済を支える重要なライフラインですが、施設の老朽化による更新費用の増加など、今後の一般会計への影響が懸念されるほか、専門人材の不足も課題となっています。村が持つ財源や人材の中で、上下水道事業を将来にわたり確実に守っていくための考えを伺います。 1. 今後の収支見通しや一般会計補助金の推移について 2. 施設設備の更新費用の見通しと財源について 3. 将来的な料金改定の見通しについて 4. 上下水道事業の広域化について 5. 専門職員の体制維持や育成方針について			

令和 8 年清川村議会 9 月定例会 一般質問通告

質問順位	2	質問通告者	1 番 岩澤 一幸
質 問 項 目 ・ 要 旨			
1 質問事項			
ピロリ菌検査を活用した胃がん予防対策について			
質問要旨(内容を具体的に)			
胃がんは、ピロリ菌の感染が主な原因の一つとされており、若年期からの検査及び除菌治療は、将来の胃がん予防につながるとされています。 全国では、中学生を対象にピロリ菌検査を実施する自治体も増えており、病気になってから治療するだけでなく、病気を未然に防ぐ施策を進めることは、村民の健康づくりや将来的な医療費の抑制にもつながる重要な取り組みであると考えます。そこで、次の点について伺います。 ・現在の胃がん対策におけるピロリ菌検査の位置付けについて ・中学生を対象としたピロリ菌検査の導入について			
2 質問事項			
これまでの村政運営の総括と今後の村づくりについて			
質問要旨(内容を具体的に)			
村長は、2 期 8 年にわたり村政運営に取り組まれ、人口減少対策や子育て支援、防災・減災対策、幼保小中一貫校の整備推進など、将来を見据えた施策を進めてこられました。 一方で、清川村は今、大きな転換期を迎えています。人口減少や少子高齢化への対応、幼保小中一貫校の整備をはじめとする将来への投資など、これからの数年間が村の将来を大きく左右する重要な時期であると考えます。 そこで、これまでの村政運営をどのように総括し、今後の村づくりをどのように進めていくのか、村長の考えを伺います。 ・2 期 8 年の村政運営の総括について ・今後の村政運営に対する考えについて			

令和 8 年清川村議会 9 月定例会 一般質問通告

質問順位	3	質問通告者	7 番 細野 洋一
質 問 項 目 ・ 要 旨			
1 質問事項			
人口減少に関する村政運営の評価と持続可能な村づくりの進捗及び課題について			
質問要旨(内容を具体的に)			
村の最重要課題である人口減少、少子・高齢化に歯止めをかけ、今後も村が持続して発展し、既存の住民サービスが継続できる最低限度の人口を 3,000 人と定め、数次の総合計画において村づくりを推進してきたところであります。 しかし、現在の住基人口は約 2,600 人となり、基本構想の将来像「水と緑あふれる心のふるさと」の達成が危惧されますが、村長任期中の人口確保政策に対する評価と課題及び将来像実現への影響について伺います。 (1)人口減少の将来への影響と人口減少（結果）に対する施策評価と課題及び持続可能な村づくりの進捗について伺います。 (2)本年度村制 70 周年、次の 80 周年と継続的に発展・成長する村づくりには何を成し遂げるべきか。また、村の自立に必要な要素について考えを伺います。			
2 質問事項			
村税の減収に伴う長期財政運営及び財源確保対策について			
質問要旨(内容を具体的に)			
人口減少が続くと村税の減収と高齢化による社会保障費や公共施設等の維持管理経費の増加など歳出の増加が見込まれ、長期的な歳入・歳出の両面の対策が必要となります。 また、財政の硬直化も危惧されるところですが、将来にわたって近隣市町と同等のきめ細かな住民サービスを提供する財源確保が不可欠です。人口減少に伴う歳出の増加分を、住民負担に転嫁しないなど、財政の持続可能性について伺います。 (1)村財政の歳入が減少し、歳出が増加すると基礎的財政収支は赤字になりますが、長期財政運営（村政運営）にどのような影響があるか。また、その対策を伺います。 (2)地方交付税の交付団体は行政サービスを提供する条件が、不交付団体と大きく異なると思うが認識と自治体の財政力の格差は今後の住民サービスにどのような影響があるか伺います。			

3 質問事項

村民のスポーツ参加や文化活動及び地域活動等への参加機会の拡大対策について

質問要旨(内容を具体的に)

人口減少と少子・高齢化の進行は、スポーツ基本計画では、スポーツに参加する人、それを支える担い手の不足、学校部活動や地域スポーツ・運動環境の維持の困難さにつながるとの見解が示されています。本村では、人口減少、少子・高齢化等によって団体競技で人が集まらない。部活動の縮小・廃止、指導者不足などで地域スポーツ等が続けられない課題が深刻化しています。

やりたいスポーツがあっても村内に環境がないという地域格差（自治体格差）が生じています。

(1) スポーツや文化芸術活動が続けられる環境整備（施設整備）と地域格差対策について伺います。

(2) 村民の各種のスポーツ参加の選択肢の拡大対策について伺います。

令和 8 年清川村議会 9 月定例会 一般質問通告

質問順位	4	質問通告者	4 番 城所 英樹
質 問 項 目 ・ 要 旨			
1 質問事項			
農業を取り巻く課題と今後の農業振興対策について			
質問要旨(内容を具体的に)			
活力ある村づくりには産業の活性化は重要な施策であります。 基幹産業である清川茶の栽培は、農家の高齢化による労働力不足及び担い手不足などにより、栽培農家数の減少と栽培面積の減少を招いています。 また、農業を取り巻く課題として、シカ、サル、イノシシなどの有害鳥獣被害が拡大しており、耕作意欲の減退や農地の荒廃地化が進んでいます。農家の現状と対策について伺います。 ○ 清川茶の栽培農家の現状と担い手確保・育成対策について ○ 有害鳥獣の生息・捕獲状況と農作物等への被害状況について ○ 既存の有害鳥獣対策の課題と今後の対策について			
2 質問事項			
商工業の現状と振興対策について			
質問要旨(内容を具体的に)			
本村の商工業は単なる経済活動だけでなく、村民の日常生活や地域コミュニティを維持する重要な役割があり、雇用の創出、生活利便性の確保、経済循環、交流拠点としての機能があると思います。村の商工業は多様な役割を果たしており、村にとって重要な産業となっていますが、高齢化や後継者不足並びに、経営上の問題から、衰退傾向にあると思われます。商工業の現状分析と活性化対策について伺います。 ○ 村内商工業の現状と課題、今後の振興対策について ○ 村内への企業誘致・事業所誘導の考え方と、これまでの取組及び効果について ○ 地域資源を活用した商工業の活性化と事業者支援について			

令和 8 年清川村議会 9 月定例会 一般質問通告

質問順位	5	質問通告者	5 番 川瀬 正行
質 問 項 目 ・ 要 旨			
1 質問事項			
熱中症対策としてのエアコン設置・更新支援について			
質問要旨(内容を具体的に)			
近年、全国的に記録的な高温となる日が増え、厳しい暑さが長期化する中、熱中症による健康被害が深刻な問題となっています。 熱中症を予防するためには、暑さを避け、適切に休息を取ることが重要であり、特に屋内ではエアコン等を適切に使用して室温を管理することが有効です。 一方で、エアコンは故障や老朽化による買い替えの際に大きな費用負担となることから、必要であっても更新をためらう世帯もあると考えます。こうした中、他の自治体では、省エネ家電の購入・買い替えに対する助成制度を設けるなど、熱中症対策と省エネルギー対策を兼ねた支援を行っています。 本村において、熱中症による健康被害を防止する観点から、エアコンの設置・更新に対する支援制度を設ける考えはあるのか、また、その他の熱中症対策を含め、今後どのような対応を考えているのか伺います。			
2 質問事項			
休校中の宮ヶ瀬小中学校の今後の利活用について			
質問要旨(内容を具体的に)			
宮ヶ瀬小学校は休校から 1 年が経過し、宮ヶ瀬中学校についても令和 7 年度をもって学校としての役割を終えました。現在、両校の施設は休校の状態にありますが、施設を維持するためには一定の維持管理経費が必要となります。 現在、両校の施設についてどのような維持管理を行い、どの程度の経費を要しているのか、また、今後どのように維持・管理していくのか伺います。 併せて、地域の活性化や村民サービスの向上につながる施設として有効に利活用していく考えはあるのか、村の基本的な方針と今後の対応について伺います。			